

ケニア国モンバサ郡都市交通セミナーの開催について (結果報告)

ケニア国モンバサ郡は、東アフリカ地域最大規模の国際港湾であるモンバサ港を有しており、ケニア国の貿易の拠点であるとともに、東アフリカ地域の物流の生命線として重要な役割を担っています。

しかしながら、貨物自動車等の車両数の増加や拡大した都市圏からの交通流入により、都心部の交通渋滞が深刻化しています。経済成長が著しい当地域においては、輸送インフラの改善が喫緊の課題となっており、JICAが策定支援をしている都市開発マスタープランにおいても、輸送インフラの改善が重要プロジェクトと位置付けられる予定となっています。

今回、輸送インフラに課題を抱えるケニア国モンバサ郡の関係機関に、日本の都市交通システムに関する経験や技術の優位性を認識していただき、将来的な都市交通システム導入にあたり本邦企業の海外展開を支援することを目的として、国土交通省主催によりモンバサ郡において都市交通セミナーを開催しましたので、お知らせいたします。

○ セミナー開催概要

- (1) 日 程 平成29年3月2日(木) 9:30~14:00
- (2) 会 場 トラベラーズビーチホテル
- (3) 主 催 日本国 国土交通省
- (4) 後 援 ケニア国 運輸・インフラ・住宅・都市開発省、モンバサ都
独立行政法人国際協力機構
- (5) 参加者 63名(ケニア側:52名、日本側:11名)
- (6) 出席者

[日本国側]

国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路交通施設企画室長 川口 泉
都市局 都市計画課 都市計画調査室 係長 新谷 正樹
在ケニア日本国大使館 経済・経済協力班長 酒井一等書記官
(独)国際協力機構ケニア事務所、(公社)日本交通計画協会
(株)日立製作所、日本工営(株) ほか

[ケニア国側]

運輸・インフラ・住宅・都市開発省 John Mosonik (ジョン・モソニク) 次官

ケニア高速道路公社 Peter Mundinia（ピーター・ムンディニア）総裁
モンバサ都 Francis Thoya（フランシス・トーヤ）郡政府次官
Taufiq Balala（トーフイク・バララ）郡政府運輸インフラ大臣
Antony Njaramba（アントニー・ジャランバ）郡政府土地・計画・住宅大臣

メディア ほか

(7) セミナー結果概要

- ・冒頭、モソニク運輸・インフラ・住宅・都市開発省次官、ムンディニア・ケニア高速道路公社総裁、及びトーヤ・モンバサ郡政府次官よりご挨拶いただき、ナイロビやモンバサが抱える渋滞問題について、日本の優れた都市交通システムに関する知見の共有を期待する旨の発言があった。
- ・セミナーでは、日本側より、日本の都市開発と一体となった都市交通整備事例の紹介や、ケニア国におけるこれまでの日本の技術協力、AGT（Automated Guideway Transit）やモノレールの技術についてプレゼンテーションが行われた。
- ・ケニア国側からは、モンバサ郡における都市交通政策や、現在JICAが策定支援している都市開発マスタープランの概要についてプレゼンテーションが行われた。
- ・質疑応答では、新たな都市交通システムを導入するに当たっての資金面、運営面に関する質問や、土地収用や支障する電柱等への対応に関する質問があり、出席者の関心の高さが伺われた。
- ・これに対し、日本側から、事業費を算出するための詳細な調査の必要性や日本における事例を紹介し、また、今回紹介したAGTやモノレールは、線形の自由度が高く、建設に際して課題となる土地収用が最小限に抑えられる旨の回答を行った。
- ・最後に、酒井在ケニア日本大使館一等書記官とジャランバ・モンバサ郡政府土地・計画・住宅大臣より閉会の挨拶をいただき、ケニア国の近年のめざましい発展と都市交通システム導入に対する関心の高さを受けて、両国間の連携を一層強化し、渋滞問題解消に向けて検討を進めることで一致した。



セミナー開催状況



セミナー記念撮影

問い合わせ先

都市局 都市計画課 都市計画調査室 新谷

TEL：代表 03-5253-8111(内線32-685) 直通 03-5253-8411

FAX：03-5253-1590